



電気学会寄付講義の実施について

平成 22 年 4 月 15 日

社団法人 電気学会

社団法人電気学会（会長：松瀬貢規）は、新たな教育支援制度である電気学会寄付講義を平成 21 年度に設立しました。本制度は、大学等の高等教育機関に対し大学等が要望する講義を、本制度にご賛同いただいた企業等の寄付金を原資に支援限度枠内で無償提供する制度です。平成 21 年度の実施教育機関は大学 9 校、工業高等専門学校 5 校の合計 14 校で、19 の賛同企業等から寄付金を頂きました。平成 22 年度の実施予定教育機関は大学 15 校、工業高等専門学校 7 校の合計 22 校で、22 の賛同企業等から寄付金を頂いております。社団法人電気学会は今後も本制度の設立趣旨にのっとり電気学会寄付講義を実施してまいります。

< 設立趣旨 >

現代社会を支える工学の基幹分野である電気電子工学において、優れた技術者を育成し続けることは、将来のわが国を支えていくために極めて重要な課題です。しかし、わが国では今後、少子化、理工系離れなどに基因して電気電子系技術者不足が懸念されています。然るに、大学等の高等教育機関では入学者数の減少や財政悪化等により教員の減員を余儀なくされ、電気電子系学科に必要な科目を開講できないなど教育の質の低下が憂慮されています。次の時代を担う若者が電気電子工学の先進知識や実社会での応用を学び、その魅力を知り、将来の活躍のために必要な素養を身につけてもらう学習・教育の機会の提供が求められています。

そこで、電気学会では、従来から各大学等の高等教育機関で取り組まれてきた授業に加えて、第一線で活躍している技術者や研究者、あるいは実務経験者による授業など、大学等の教員組織だけではカバーできない教育を提供する新しい教育支援制度を設立しました。



<制度の概要>

(1) 寄付講義の形態

原則として、以下のような電気電子工学関連学科の学部生向けの授業を対象とします。

① 電気電子工学に関する標準的な講義

(例：2単位の授業＝90分授業を半期15回行なう)

② 大学等における学習意欲や目的意識を高揚させる入学時導入教育

(例：オムニバス形式)

③ キャリア教育（進路選択の参考となるもの）

(例：オムニバス形式)

(2) 寄付講義提供の範囲

当該講義に関わる講師料、宿泊・交通費などの費用を本制度の規定の限度内で電気学会より支援いたします。

<寄付講義実施科目>

今年度実施する講義科目分野は、電気・電子工学、電力システム、電気エネルギー技術、電子回路、電気・電子材料、電子デバイス、照明工学、電気法規などの他キャリア教育に資することを期待したもの。

<実施教育機関>

(平成21年度)

大阪大学、大阪府立大学、岡山大学、金沢大学、九州工業大学、上智大学
東京電機大学、福井工業大学、仙台高等専門学校（宮城工業高等専門学校）
詫間電波工業高等専門学校、東京工業高等専門学校、他3校の14教育機関

(平成22年度)

大阪大学、大阪府立大学、岡山大学、金沢大学、上智大学、筑波大学、帝京大学
富山大学、同志社大学、宮崎大学、九州工業大学、東京電機大学、福井工業大学
岐阜工業高等専門学校、佐世保工業高等専門学校、仙台高等専門学校、東京工業高等専門
学校、長岡工業高等専門学校、他4校の22教育機関



<賛同企業等> (平成22年3月 現在)

アスモ株式会社、財団法人関東電気保安協会、株式会社サンコーシャ、東芝電力流通・産業システム社、ファナック株式会社、パワーアカデミー (電気事業連合会)、日本工営株式会社、株式会社明電舎、他14企業等の22賛同企業等

以上

【問い合わせ先】 電気学会 技術者教育課長 吉澤純一
〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2
Tel:03-3221-3710 Fax:03-3221-3704
E-mail:yoshizawa@iee.or.jp